

赤穂総合学科新校準備委員会報告

第 19 回準備委員会

令和 6 年 12 月 18 日（水） 18 : 00 ~ 19 : 00

【概況】 参加者：準備委員 14 名出席（うち 1 名は代理出席）、
高校教育課主任指導主事、事務局 11 名、
傍聴者：4 名

内容：・新校の校名、校歌、校章について
・基本計画概要について
・その他、学校からの現況報告

【内容・記録等】

1 新校の校名、校歌、校章について

(1) 学校アンケート結果報告

- ・全日制生徒：新校の「校名」は「今のままで良い」…89.0%
「校歌」は「今のままで良い」…89.6%
「校章」は「今のままで良い」…86.2%
- ・定時制生徒：新校の「校名」は「今のままで良い」…88.5%
「校歌」は「今のままで良い」…92.3%
「校章」は「今のままで良い」…92.3%
- ・教職員：新校の「校名」は「今のままで良い」…79.5%
「校歌」は「今のままで良い」…84.1%
「校章」は「今のままで良い」…79.5%

(2) 同窓会

以下の 4 つの観点から、新校の校名、校歌、校章は「現状のまま」としたい。

- ① 複数校による再編統合ではなく総合学科高校への転換である。
- ② ①に伴い校舎は変わるが、「地域と共に未来をひらく学びの拠点」としての本校の位置づけは現在と変わらない。
- ③ 定時制の学びはそのまま新校へ継承される。
- ④ 「現状のままが良い」という思いについては同窓会定期総会等でその都度確認している。

(3) 校長より

- ・(1)(2)の結果・それぞれの思いについては重く受け止めている。
- ・新校の新しさを校名、校歌、校章の変更で打ち出したいという約 1 割の生徒の思いには、新しい学校づくり、学びづくりを実践していくことでその期待に応えたい。

- ・コロナ禍で歌うことができなかった校歌、行事の際、ただ放送で流して聴くだけだった校歌に対して、生徒たちがとても愛着を持っていたことについてアンケートを通して知ることができた。
- ・在校生、卒業生すべての思いを大切にしながら未来に向かっていきたい。現在の校名、校歌、校章を新校においても受け継いでいきいたと県教育委員会に具申したいと考えるがいかがか。
 - 再編整備計画では赤穂総合学科「新校」となっているが、赤穂高校の「アップデート」という方が当てはまる。校名、校歌、校章の継続に賛成。
 - 準備委員会了承。

2 基本計画概要について

高校教育課より基本計画の校舎平面図と校舎模型について説明。

- 生徒の昇降口へのルートはどうなるのか。
 - まなびミチ側に昇降口を予定。
- ミニステージを小・中学生をはじめ地域の方の活動の発表の場に活用してほしい。
 - そのような活用ができるよう設計チームに伝える。
- 更衣室が沢山あるが、新校でも私服であれば不要。
 - 生徒の声を聴きながら学校と相談し、計画を進めていきたい。
- 現北校舎と商業科棟については現校舎を活用しながらの増築ということか。
 - そうである。
- HR教室の数が足りないのではないかと。HR数分の教室は確保してほしい。ラウンジの活用ではバッティングが不安。
 - 特別教室もHR教室として活用することを想定。
- まちミチが外とつながっていて、外と内を行き来することが想像されるので上履きは必要ないのではないとも思える。その点について決まっていることがあれば知りたい。
 - 一足制、二足制については決まっていない。このことについても準備委員会で相談させていただきたい。
- 二足制ならば玄関が必要なのではないかと。
 - 玄関を設けるか、設けずに部室などを活用するか等考えていきたい。

3 その他、学校からの現況報告

- ・教育課程部会の作業状況について報告。
- ・新校準備総部係内における一足制、二足制についての議論について報告。